

# 吉川区内の路線バス、見直しへ

## 区総合事務所が地域協議会に見直し原案提示

上越市（吉川区総合事務所）は20日、吉川区地域協議会にたいして吉川区内の路線バス見直し原案を示し、説明しました。

区内の路線バスについては「地区公共交通懇話会」が設置され、便利で使いやすい公共交通への転換という観点から「地域に即した輸送形態」への見直しが検討されてきました。

総合事務所の説明によると、見直しの基本的な考え方として、①区中心部と各集落を結ぶ新しい公共交通ネットワークの構築、②利用目的・ニーズに対応した公共交通ネットワークを

構築（鉄道・バスの連携強化）、③吉川西部循環線の運行効率化・見直し、④スクールバスの確保、の4点を重視したといっています。

見直しが原案通りとなった場合、具体的に運行ルート、運行形態、ダイヤがどう変わるか。概要は次の通りです。

山直海線については、柿崎～尾神間は朝・夕のみ直通定期運行。昼間は原之町止まりとなります。尾神～原之町間の昼間はデマンド型（注）運行に変わります。吉川西部循環線については、現在2ルートとなっている循環経路を

1本化、町田を経由してくびき駅に接続する運行に変更されます。鶉の浜線は現在利用が少ないことから路線変更し、潟町駅ではなく上下浜駅への乗り入れに変わります。各路線のダイヤは通勤通学等目的に対応したダイヤに改正されます。

この原案は27日に開催される「地区公共交通懇話会」で審議され、正式に見直し案となる見込みです。同懇話会では同時に路線バスの運行ダイヤ（6月1日改正）も決める予定とのことです。正式に決まれば、6月1日から来年3月31日までの期間、実証実験が行われます。

詳しいことは総合事務所の総務・地域振興グループ（有線2017）におたずねください。

（注）【デマンド型運行】デマンド型運行とは、利用予約に基づいて運行することをいいます。利用予約がない場合は、全部または一部の区間を運行しないこととなります。デマンド型運行の区間でバスに乗りしたい場合は、事前の利用予約が必要となります。浦川原区内では数年前からデマンド型運行がされています。

### 宗教人と日本共産党の懇談会が27日、文化会館で開催されます

真宗大谷派光源寺住職・堀前恵裕さん等の呼びかけで27日午後7時から上越文化会館で開催されます。ぜひご参加ください。（参考資料代千円。会場受付にていただきます）



【センボンヤリ】日当たりの良い林の中で小さな白い花を咲かせていました。昨年、茎がスッと伸びたままになっていなければ見つけることができなかったかも。吉川区代石にて12日撮影。

